

学校建設 (ネパール)

ネパール校舎8棟35教室まで 贈呈完了 新たに1棟建設へ



A

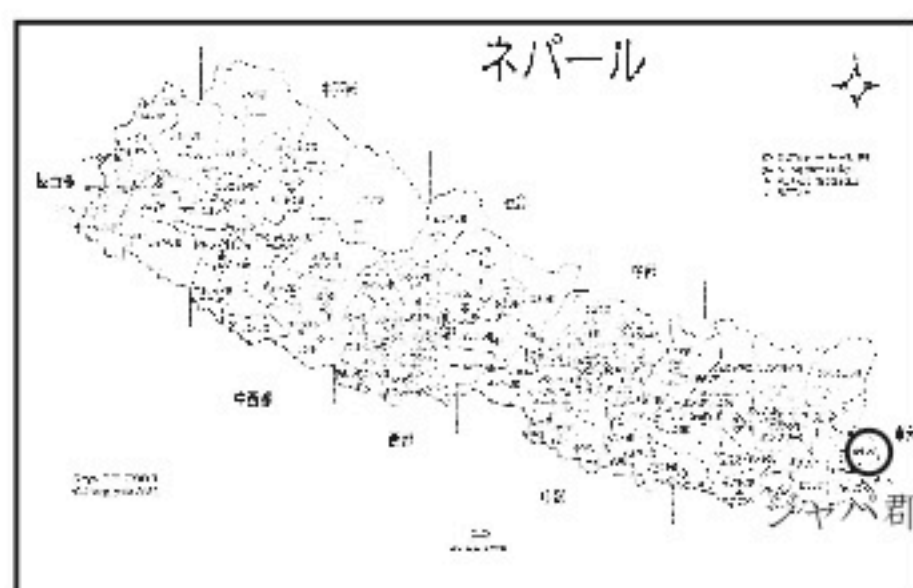
大歓迎の入場の様子

支援概況

2011年に始まったネパール支援プロジェクトは、2015年度までにネパールの東南端、ジャパ郡に2階建校舎2棟合計16教室、平屋建て4教室3棟合計12教室、2教室2棟合計4教室、3教室1棟、合計8棟35教室を建設することができました。このうち2015年には11月にジャパ郡南端、インド国境近くのデブコタ学校に4教室、3月にサラソワティー・ブタバリ学校に4教室が完成し、贈呈式が行われました。今回完成した2棟とも地元の希望で青空のような明るいブルーの壁の校舎です。

2013年に4教室を建設したラクスマー学校は新校舎建設が触媒となりジャパ郡の優秀校の一つになり、従来の10年制(小学校5年、中学校3年、高校2年)から他国に合わせた12年制へ移行することになりました。ラクスマー学校以外の支援したすべての学校でも生徒数の増加や出席率の向上等教育環境改善による成果が確認されています。

またラクスマー学校の生徒2人に対し支



援者より奨学金の申し出があり、継続支援が行われています。ラストリア・ビジャヤ学校に対しても支援者の関係者の申し出により備品やスポーツ用具、楽器の継続支援が行われています。

2015年は円高だけでなくネパール地震の影響やインドによる経済封鎖の影響で建設費が大幅に上がり事業の継続が危ぶまれましたが、支援者のご理解を得て事業を継続することができました。すし詰め教室で勉学に励んでいるネパールの子供たちの教育環境を少しでも改善するため今後も1教室でも多く校舎を建設して行きたいと願っています。皆様のご協力を切にお願いいたします。

プロジェクトの背景

2009年度より、事業方針として掲げていたカンボジア以外の支援国の検討を開始し調査を進めたところ、ネパールの公立学校の教育環境がカンボジアと同等に劣悪であることが分かった。2010年度の調査により支援対象地域と候補校を具体的に絞り込み、当会がカンボジアで培った建設ノウハウを設計図や資材に反映させながら慎重に準備を進め、現地のガナシャム・メモリアル財団と連携を図りながら2011年12月に2棟を着工し、2013年1月に初めての贈呈式を行った。



B

デブコタ学校贈呈式



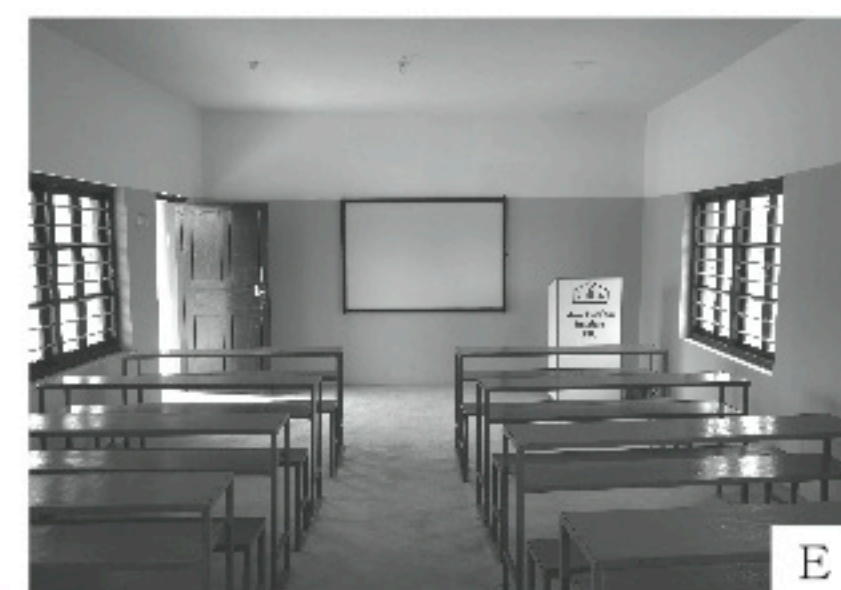
C

記念品を受け取る支援者



D

完成したサラソワティー学校新校舎



E

新校舎教室内部